

日本におけるデジタル化の状況

G584142025 MUHAMMAD YASSIR RAMADHAN

2025 年 7 月 7 日

1 ブロードバンドの整備状況

OECD によるブロードバンド回線の普及に関する調査 [1] によると、図 1 に示すように、日本における 100 人あたりの光ファイバー回線の加入者数は 29.0 で、韓国、スウェーデン、ノルウェーに続いて第 4 位になっている。

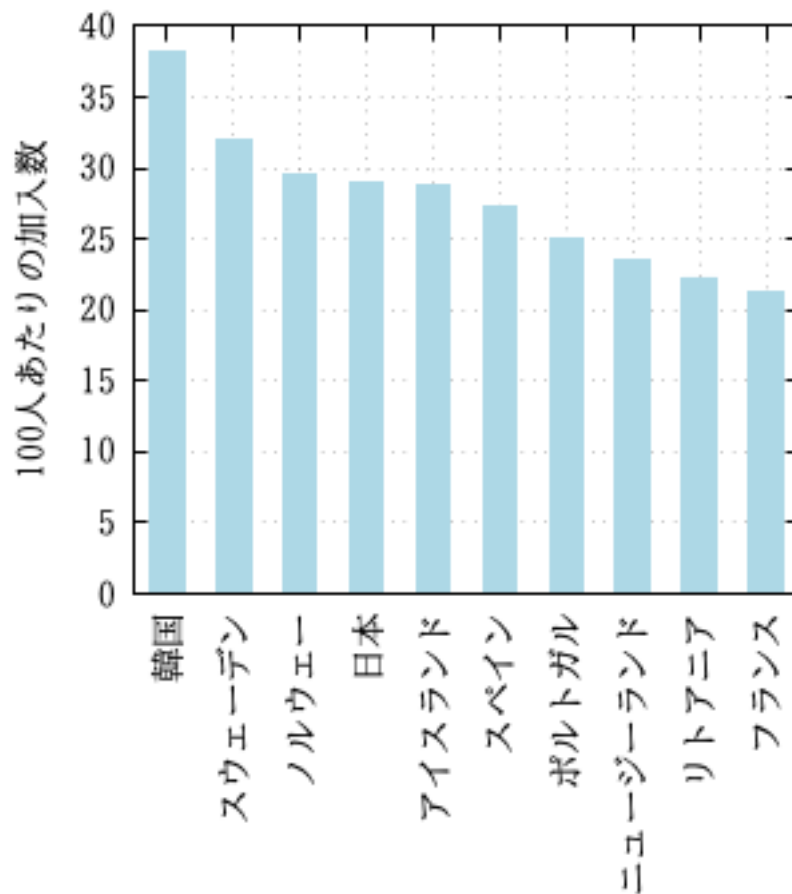


図 1: 光ファイバー回線の加入者数（100 人あたり）

2 デジタル競争力ランキング

国際経営開発研究所（IMD）の調査 [2] によると、日本のデジタル競争力のランキングは表 1 に示すように、調査対象の 64 カ国中、総合で 28 位、準備分野で 30 位となっている。

表 1: デジタル競争力ランキング（64 カ国中）

国	総合	準備
米国	1 位	4 位
香港	2 位	10 位
スウェーデン	3 位	8 位
デンマーク	4 位	2 位
シンガポール	5 位	3 位
韓国	12 位	13 位
中国	15 位	20 位
日本	28 位	30 位

3 考察

- 日本のブロードバンド整備
 - － 日本は世界第 4 位のブロードバンド普及率を誇り、全国的に高速で安定したインターネット環境が整備されている。このようなインフラの充実は、情報への迅速なアクセスやオンラインサービスの活用を可能にし、国民の生活の質を大きく向上させている。特に、リモートワークやオンライン教育の普及においては、こうした整備状況が重要な役割を果たしていると言える。今後も安定性やセキュリティを含めたインフラのさらなる高度化が求められるだろう。
- 日本のデジタル競争力
 - － 一方で、日本のデジタル競争力は 64 カ国中 28 位にとどまっており、インフラの整備状況と比較すると低い順位にある。このギャップは、単にインターネット環境が整っているだけでは、国際的な競争力の向上には直結しないことを示している。デジタル人材の不足、企業や行政のデジタル化の遅れ、教育現場での IT 活用の遅れなど、ソフト面での課題が依然として多い。今後は、インフラの利点を活かすためにも、教育や制度改革を通じて、国全体のデジタル対応力を底上げしていく必要があると思います。

参考文献

- [1] OECD. Broadband Portal. <https://www.oecd.org/digital/broadband/broadband-statistics/>, 2022.
- [2] IMD. IMD world digital competitiveness ranking. <https://www.imd.org/centers/world-competitiveness-center/rankings/world-digital-competitiveness/>, 2021.